



■3D教育プログラムを導入した経緯として、道徳の時間の教材を探していたという事情があったと伺っていますか

以前、道徳の時間の授業内容は、教員の裁量に任ざられていました。このため、クラスによって、生徒の受け止め方や学ぶ内容に差が出ていました。そこで、統一したプログラムの導入が検討されたわけです。今では道徳の授業にバラつきがなくなり、同じプログラムなので、教員同士の意見交換もスムーズになりました。

■学校として、このプログラムはどんな狙いを持って導入されたのでしょうか

ですが、最近はずっかりした答えが早めに返ってきます。自分なりに考えをまとめ、それを言葉に出す力が身に付いた証拠ではないでしょうか。

■プログラムを進めていく中で、課題は何かありますか

道徳の時間は週に1回しか持てないので、継続性という面では課題があります。本当は週に3〜4回、授業があれば、常に考える時間が持つて、プログラムの効果も上がると思うのですが、他の教科があり、その中で道徳の時間を持たなければならぬので、実際には不可能ですが…。ただ、このプログラムには、毎日やる「マイチャレンジ」があるので、これを活用しています。週に1回、わずか



“考える力を養う”ことが、大前提としてあります。中学生は考えることが苦手で、人の意見も聞かずに喋ってしまったり、自分勝手な行動に出ることが多いものです。まずは人の意見を聞き、自分なりに考えるという行為を身につけて欲しいという、狙いがありました。

■プログラム導入の効果として、実感することは何でしょうか

目に見える効果として、ケンカなど、生徒同士のトラブルが少なくなりました。子供のケンカはだいたい、思い込みによる誤解に起因しています。生徒1人1人が思い込みを減らし、他人の気持ちも理解できる

な時間でも良いので、考える時間を持つことは大切だと思います。

■綿貫先生はテニス部の顧問をしていらっしゃるようですが、スポーツにもプログラムは活かせるのでしょうか

プログラムを実践すると、自分の立場や役割が明確になります。これは、特に団体競技のスポーツに関しては、重要な意味を持ちます。実は一度、部員にエゴグラム診断を実施したのですが、部活の指導や運営をしていく上で非常に参考になるデータが得られました。個人のスポーツもそうですが、特にチームプレーのスポーツに関して、診断結果などは直に活かせるデータになると思いま



Growth for success

チームプレーのスポーツにとって エゴグラムの診断結果は大いに活用できます

国士館中学校

す。

■綿貫先生個人として、プログラム導入に関して理想があるとうかがいましたが

中学校3年間でプログラムを経験するのは意味があることですが、できれば高校でも、継続してプログラムが導入されるとベストであると思います。あるいは、小学校から始めて、中学に継続する形でも良いと思います。3年間で身につけられる力は限られており、次の段階に進むには、同じプログラムに取り組む必要があります。高校生になれば心も成熟して、中学生の時とは別の力が身に付くはずですが、高校には道徳の時間がないし、学校の事情もあるので、現実的には難しいでしょう。現実にはわかった上で、可能であれば、長い年数をかけてじっくり取り組むことが、大きな成果をあげる方法だと思っています。

■今後の計画・展望に関して教えてください

当初から“考える力”を養うためにプログラムを導入してきましたが、そのことに関しては一定の成果が得られました。次はその考えを、行動・活動”に、移す力を身につけさせたいと思っています。例えば、掃

ようになったからこそ、トラブルも減ってきたのだと思います。今でもトラブルは起こりますが、指導するとすぐに納得するので、再犯率がグッと低くなりました。

■導入後、生徒と話していて変化を感じることありますか

以前に比べると、質問に対する答えが早く返ってくるようになりました。中学生くらいの時期は、自分の考えがなかなかまとまらず、返答が遅かったり、返って来た答えが意味不明のものであるケースも多いので

School Data

学校名 国士館中学校
住所 〒154-8553 東京都世田谷区若林 4-32-1
電話番号 03-5481-3131
HP Address <http://www.schoolguide.ne.jp/kokushikan/>

【学校区分】 私立中学・全日制・共学

除一つとってみても、自分で考え、率先して掃除に取り組むような行動が、見られない生徒もいます。プログラムで学んだことを、勉強や学校生活の中で自然と行動に移せるようになれば、理想的と言えるでしょう。

★『3D教育プログラム』でココが変わった！

- ・道徳の授業を統一した内容で進めることができるようになった
- ・相手の気持ちが理解できる生徒が増えて、トラブルが少なくなった
- ・質問に対する的確な回答を早く返せる生徒が多くなった

インタビュー 教諭・綿貫 陽一 先生